【令和8年10月入学】

【令和9年 4月入学】

学 生 募 集 要 項

大学院医学系研究科博士課程〔医学専攻〕

旭川医科大学大学院医学系研究科

目次

理念、教育目標・アドミッション・ポリシー …… 1
ディプロマ・ポリシー …… 2
カリキュラム・ポリシー …… 3
Ⅰ　大学院医学系研究科博士課程〔医学専攻〕学生募集要項
1. 募集人員 …… 4
2. 出願期間及び入試日程 …… 4
3. 出願資格 …… 4
4. 出願手続等 …… 6
5. 出願資格(6)の工、(7)又は(8)の出願資格認定 …… 7
6. 入学者選抜方法 …… 7
7. 試験日・試験時間・受験の際の注意事項 …… 8
8. 合格発表 …… 8
9. 入学手続 …… 8
10. 入学料及び授業料 …… 9
11. 受験に際し、特別な配慮を希望する方へ …… 9
12. 個人情報の取扱いについて …… 9
出願手続きの流れ …… 10

Ⅱ　大学院医学系研究科博士課程〔医学専攻〕入学案内
1. 組織構成 …… 14
2. 教育課程 …… 15
3. 各コースにおける研究指導教員 …… 15
4. 教育方法の特例 …… 21
5. 学位の授与 …… 21
6. 長期履修学生制度 …… 21
7. 免除等の制度 …… 21
8. 奨学金制度 …… 22
9. 問合せ先 …… 22
Ⅲ　「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」 …… 23
Ⅳ　試験会場 …… 24

・この「学生募集要項」は、ダウンロード・印刷して入学手続きまで保管してください。
・旭川医科大学の選抜は、出願登録をインターネット出願登録サイトから行います。
「学生募集要項（出願書類を含む）」の紙媒体（冊子）での発行は行いません。

・インターネット出願登録については、
本学インターネット出願登録サイト https://e-apply.jp/ds/asahikawa-med/
または、
本学ホームページ https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/
のウェブサイトを参照してください。

出願登録サイト

本学ホームページ

【注意】
インターネット上での出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。
必ず、①出願登録、②入学検定料の支払い、③出願書類の郵送提出（出願受付期間内（必着））の3点の手続きが必要となります。
※いずれかが行われなかった場合は、出願を受け付けません。

理　念　、　教　育　目　標

理　念

１．医療系大学院として、基礎研究と臨床研究の多様な取組を通し、医学・看護学の総合的な発展を図ります。

２．自主・自律の精神を以て深く真理を探求し、真摯な研究活動を通して知の創造を目指します。

３．多様で調和のとれた教育体系のもと、豊かな教養と高い人間性、厳しい倫理観を備えた、優れた研究者と高度の専門能力を持つ人材を育成します。

４．開かれた大学院として、地域に根ざすと同時に世界との連携にも努め、医療福祉の向上と国際社会の調和に貢献します。

教 育 目 標

１．秀でた独創性、豊かな人間性、厳しい倫理観を備えた、医学教育者・研究者の育成

２．地域社会の医療福祉の充実のために、指導的な役割を担える高度専門職業人の育成

３．国際社会で、医学・医療の取組を通し、その普遍的価値を共有できる人材の育成

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

【求める学生像】

１．知的好奇心を持ち、生命科学、基礎医学、社会医学、臨床医学の研究を志す人

２．医学・医療を通して、社会へ貢献することに情熱を持つ人

３．研究成果を世界に向けて発信し、世界と共有する意欲のある人

４．自ら課題を見つけ、研究を遂行するために必要な学問的素養と論理的能力を備えた人

５．自ら必要な情報を収集し、論文を作成し、発表するために必要な言語的能力を備えた人

６．コミュニケーション能力を備え、周囲の人々と相互的な協力関係を築ける人

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」で示す能力等を多面的に評価するため、学力検査の成績、面接の結果及び成績証明書の内容を総合的に審査して選抜します。

学力検査においては基礎学力を、面接においては医療人・研究者としての適性と向上心を評価します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医学系研究科医学専攻（博士課程）	
研究者コース	臨床研究者コース
前　文	
旭川医科大学大学院医学系研究科医学専攻（博士課程）では、教育の目標に沿って編成された年次カリキュラムを履修し、基準となる単位数を修得し、次の資質と能力を身につけたと認められ、かつ博士論文の審査及び最終試験に合格した学生に対し学位（博士（医学））を授与します。	
「倫理観とプロフェッショナリズム」（態度）	
生命の尊厳を尊重し、医の倫理、研究者の倫理を理解し、これらを踏まえた基礎研究を遂行できる。 また、解決すべき問題を自ら見出し、それらを探求する意欲を持ち、さらに専門家による批評に堪えうる世界レベルの質の高い研究を志向する態度を持っている。	生命の尊厳を尊重し、医の倫理、研究者の倫理を理解し、チーム医療に基づいた高度の専門的医療を実践できる。 また、解決すべき問題を自ら見出し、それを自ら探究する意欲を持っている。
「医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）	
基礎研究に関する幅広く深い知識のみならず、自らの基礎研究と医学との関わりについて理解するための基本的医学知識を持っている。 また、最先端の研究を遂行するために生涯にわたる学習が必要であることを理解し、その方法を身につけている。	基礎医学の素養に裏打ちされた、臨床医学、社会医学に関する専門的な知識を持っている。 また、これらに基づいた医療および研究を実践するために生涯にわたる学習が必要であることを理解し、その方法を身につけている。
「全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力、研究遂行能力」（技能）	
豊かな人間性に基づいた知的好奇心を持ち、医学・医療の発展に寄与しうる専門的かつ独創的な基礎研究を実践できる。	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接し、患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療のための実践的臨床能力を身につけ、臨床研究を実践できる。 また、高度の専門性が必要な診断と治療を実践できる。
「問題解決能力、発展的診療能力、研究心」（思考・判断）	
基礎研究の意義を理解し、科学的情報を収集し客観的に評価するとともに、これらを自らの研究に役立てることができる。 また、未解決の問題を、強い探究心を持って論理的、科学的に追求できる。	基礎医学、臨床医学、社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し客観的に評価するとともに、これらを診療に応用することができる。 また、未解決の問題を、論理的、科学的に探究できる。
「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」（意欲・関心）	
自らの基礎研究を通じ医学・医療の発展に寄与することで、地域社会や国際社会に貢献できる。	医療に対する社会的ニーズを理解し、臨床研究、専門的医療の実践を通じて地域社会や国際社会に貢献できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

旭川医科大学大学院医学系研究科医学専攻（博士課程）では、学生が専攻する科目において先端的な研究を目指す「研究者コース」と臨床研究や臨床試験を推進する能力を涵養する「臨床研究者コース」の2つのコースを設けています。いずれも所属研究室における直接的な個人指導を基本とし、学生は自由かつ学問的な雰囲気の中で研究活動を行います。専門科目では研究の進行に合わせた段階的な特論、特論演習、特論実験実習などを通して、態度、知識、技能、思考・判断能力を体得していきます。研究成果を獲得し、学位論文を書き上げることで、達成感を得るとともに、継続して地域社会・国際社会に貢献する意欲・関心を育みます。上記に平行し、初年度より2年単位で展開される一連の共通講義（先端医学特論、基盤医学特論、医学論文特論）を受講し、学内の研究者との交流を深めながら、医学研究を遂行する上で必要な基礎的・応用的知識を学び、研究者としての倫理的素養を身につけていきます。このような総合的・体系的な大学院教育を通じ、将来の医学を支え、社会からの要請に応えうる指導的な人材を育成することが本博士課程の目標です。

学生は初めに上記いずれかのコースを選択しますが、研究の進展に応じ、コースの途中変更が可能です。また、研究の遂行に有益と認められる場合には、学内の他の研究室において指導を受けることや、海外を含めた学外の大学院、研究所で研鑽を積むこともできます。さらに、初期臨床研修の1年目から大学院に在籍し、研究を早期にスタートさせる制度も採用しています。なお、共通講義については、講義室での通常の講義の他、大学院ホームページ上のeラーニングシステムを充実させ、各自の研究・研修スケジュールに合わせてそのシステムから必要な講義を効率的に受講できるよう配慮しています。以上のように、本博士課程では、学生の主体的な学びを促進するため、可能な限りフレキシブルなカリキュラムを提供するよう努めています。

学習成果の評価は、共通科目、専門科目及び学位論文についてあらかじめ定められた基準に従って行われます。なお、提出された学位論文は、大学院委員会が設置する論文審査委員会による審査及び最終試験により評価されます。

Ⅰ　大学院医学系研究科博士課程〔医学専攻〕学生募集要項

1．募集人員

(名)

専攻名	令和8年10月入学	令和9年4月入学
医学専攻	2	15

【注意事項】
① 募集人員に社会人を含みます。
② 社会人とは、官公庁、研究所、企業、公的・民間研究所及び病院等に勤務し、入学後もその職業を有する者をいいます。
③ 社会人である大学院学生は、所属する機関で院外研究を行うことができます。

2．出願期間及び入試日程

・出願登録は、インターネットにより行いますが、併せて出願書類の郵送もしくは持参が必要です。
　※インターネット上での出願情報の登録及び入学検定料の納入だけでは出願手続きが完了しませんので注意してください。
・出願期間の最終日は、書類必着日を表し、当該日の17:00までです。

●大学院医学系研究科（博士課程）入学試験

出願区分	出願期間	試験日	合格発表日時
令和8年10月入学者選抜	令和8年7月22日(水) ～令和8年7月29日(水) ※インターネット出願登録サイトは、令和8年7月15日(水)から事前登録が可能ですが、受付は上記期間に限ります。	令和8年8月18日(火)	令和8年9月10日(木) 10:00
令和9年4月入学者選抜	令和8年11月20日(金) ～令和8年11月26日(木) ※インターネット出願登録サイトは、令和8年11月13日(金)から事前登録が可能ですが、受付は上記期間に限ります。	令和8年12月18日(金)	令和9年1月28日(木) 10:00

3．出願資格

※　文中【　】内は令和8年10月入学者の取扱です。

(1)　大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程（修業年限が 6 年であるものに限る。以下同じ。）又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者【令和 8 年 9 月までに卒業見込みの者】
(2)　外国において、学校教育における 18 年（最終の課程は医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程）の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者【令和 8 年 9 月までに修了見込みの者】
(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年

（最終の課程は医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程）の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者【令和 8 年 9 月までに修了見込みの者】

⑷　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年（最終の課程は医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程）の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該　外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月までに修了見込みの者【令和 8 年 9 月までに修了見込みの者】

⑸　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該　外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である 課程（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了 することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月までに学位授与見込みの者【令和 8 年 9 月までに学位授与見込みの者】

⑹　文部科学大臣の指定した者（昭和 30 年 4 月 8 日文部省告示第 39 号）

ア　旧大学令（大正 7 年勅令第 388 号）による大学の医学を履修する課程又は歯学を履修する課程の学部において、医学を履修する課程又は歯学を履修する課程を履修し、これらの学部を卒業した者

イ　防衛省設置法（昭和 30 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者【令和 8 年 9 月までに卒業見込みの者】

ウ　修士課程を修了した者又は学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 99 条第 2 項の専門職大学院の課程を修了した者（令和 9 年 3 月修了見込みの者【令和 8 年 9 月までに修了見込みの者】を含む。）及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期 2 年及び後期 3 年の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和 49 年文部省令第 30 号）による改正前の学位規則（昭和 29 年文部省令第 9 号）第 6 条第 1 号に該当する者を含む。）で本学大学院において、大学の医学を履修する課程、歯学を 履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

エ　大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

⑺　大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程）に 4 年以上在学し、又は外国において学校教育における 16 年の課程（最終の課程は医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程）を修了し、本学大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

⑻　本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程又は獣医学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月までに 24 歳に達するもの【令和 8 年 9 月までに 24 歳に達するもの。】

【注意事項】

①　出願資格⑸で出願しようとする者は、出願期間前のできる限り早い時期に本学学務課入学試験室まで提出書類について照会願います。

②　出願資格⑹のエ、⑺又は⑻により出願しようとする者は、出願資格の認定が必要になります。詳細は7ページの「5 出願資格⑹のエ、⑺及び⑻の出願資格認定」を参照してください。

4．出願手続等

⑴出願方法

① 10～13ページの「出願手続きの流れ」を参考に「インターネット出願登録サイト」にて必要情報の登録を行った後、入学検定料（30,000円）を支払って下さい。決済に係る手数料は、振込者にてご負担ください。

② 入学検定料納付後、下表の「⑥ 出願書類」を「インターネット出願登録サイト」からダウンロードした「出願書類提出用宛名シート」を貼り付けた市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に一括して入れ、出願期間内に以下の「⑤ 出願書類提出先」へ郵送してください。郵送する場合は、必ず「速達・簡易書留」扱いで送付してください。なお、直接持参する場合は、平日9:00～17:00の間に本学学務課入学試験室へお越しください。

③ インターネット出願登録及び入学検定料の払込開始日

令和8年10月入学者選抜：令和8年 7月15日(水)

令和9年4月入学者選抜 ：令和8年11月13日(金)

④ 出願期間

令和8年10月入学者選抜：令和8年 7月22日(水)～令和8年 7月29日(水) ※17:00郵送必着

令和9年4月入学者選抜 ：令和8年11月20日(金)～令和8年11月26日(木) ※17:00郵送必着

⑤ **出願書類提出先**

〒078-8510 旭川市緑が丘東２条１丁目１番１号 旭川医科大学事務局学務課入学試験室

TEL: 0166-68-2214（直通）（平日 9:00～17:00）

⑥ 出願書類

★印は、「インターネット出願登録サイト」からダウンロード・印刷する書類です。

※印は、本学出身者（卒業見込み者を含む）は、提出する必要はありません。

	出 願 書 類	提出該当者	注 意 事 項	確認
★	1. 入学志願票	全員	「インターネット出願登録サイト」にて、必要事項を入力し、写真データ*1をアップロードしてください。 入学検定料納入後に、「インターネット出願登録サイト」から当該書類をダウンロードし、 A4サイズ（縦）の用紙に「**両面・カラー**」で印刷したものを郵送で提出してください。 *1 顔写真データ（ファイル種類 jpeg,jpg,png,bmp、最大10MBまで）が必要です。写真は本人確認に利用します。出願前３か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なし、のカラー写真データを用意してください。	
※	2. 成績証明書	本学出身者(卒業見込者含む)以外【該当者のみ】	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。 なお、大学院修士課程修了(見込)者は、出身大学の成績証明書の他に、修士課程における成績証明書をあわせて提出してください。	
※	3. 卒業（見込）証明書 または 修了（見込）証明書	本学出身者(卒業見込者含む)以外【該当者のみ】	出身大学（学部）長が作成したものとします。 なお、大学院修士課程修了(見込)者は、出身大学の卒業証明書の他に、修士課程における修了(見込)証明書をあわせて提出してください。	
	4. 学位授与(見込)証明書及び認証評価を受けたことを証明する書類	出願資格⑸【該当者のみ】	出願資格⑸に該当する者は、出身大学（学部）の長が作成した学位授与（見込）証明書及び出身大学が教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたことを証明する書類を提出してください。	
	5. 受験承認書	全員	在職中（予定者含む）の者は、入学時期に在職（予定）する所属長が作成したものを提出してください。 なお、受験承認書について、不明な点がある場合は、本学学務課入学試験室まで早めに相談してください。 本学ホームページよりダウンロードした様式を使用して作成してください。 A4サイズ（縦）の用紙に印刷して下さい。 2「受験承認書(Wordファイル)」ダウンロード	
	6. 在留カードの写し	外国籍を有する者【該当者のみ】	外国籍を有する者は、在留カードの表裏両面のコピーを提出してください。	
★	7. 出願書類提出用宛名シート	全員	「インターネット出願登録サイト」からダウンロードした「出願書類提出用宛名シート」を市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けてください。	

⑦ 留意事項

ア．**あらかじめ志願する領域の指導教員に必ず連絡したうえで出願してください。**

イ．「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」の履修を希望する場合には、23 ページを参照のうえ、「インターネット出願登録サイト」に所定の事項を入力してください。

ウ．改姓等により成績証明書等の氏名が入学志願票と異なっている場合は、改姓（名）をした日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記した書面（様式任意）を添付してください。

エ．出願書類に不備がある者は受理できません。なお、提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には入学許可を取り消すことがあります。

オ．受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還できません。

⑵受験票

受験票のダウンロード・印刷が可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへ通知します。
出願登録サイトのマイページから、受験票をダウンロードの上、必ず印刷し、試験当日持参してください。
（※郵送での配付は行いません。）
試験日の 5 日前になっても受験票がダウンロードできない場合は、本学学務課入学試験室まで問い合わせてください。
受験票は、必ず A4 サイズの用紙に片面・カラー印刷にしてください。

5. 出願資格⑹の エ、⑺及び⑻の出願資格認定

出願資格 ⑹の エ、⑺又は⑻により出願しようとする者は、次により出願資格の認定を受けてください。なお、事前に本学学務課入学試験室まで連絡してください。

⑴ 提出書類

① 出願資格⑹の エによるもの
ア. 出願資格審査申請書及び研究業績等調書
イ. 出身学校の卒業証明書及び成績証明書
ウ. 研究期間証明書、研究歴証明書（研究機関等が発行）
エ. 推薦書（研究歴に関係のある者から）
オ. 返信用封筒（審査結果通知用：定形封筒に宛名を明記し、切手⑹20円分⑺を貼付する）

② 出願資格⑺によるもの
ア. 出願資格審査申請書及び研究業績等調書
イ. 出身学校の成績証明書及び在学期間証明書
ウ. 研究期間証明書、研究歴証明書（研究機関等が発行）
エ. 推薦書（在学中の指導教員及び研究歴に関係のある者から各1通　合計2通）
オ. 返信用封筒（審査結果通知用：定形封筒に宛名を明記し、切手⑹20円分⑺を貼付する）

③ 出願資格⑻によるもの
ア. 出願資格審査申請書及び研究業績等調書
イ. 出身学校の卒業証明書及び成績証明書
ウ. 研究期間証明書、研究歴証明書（研究機関等が発行）
エ. 推薦書（研究歴に関係のある者から）
オ. これからの研究課題及び研究計画書（2,000字程度）
カ. 返信用封筒（審査結果通知用：定形封筒に宛名を明記し、切手⑹20円分⑺を貼付する）

⑵ 提出期間及び提出先

① 提出期間

出 願 区 分	提 出 期 間
令和8年10月入学者選抜試験	令和8年 6月 1日⑹ ～ 令和8年 6月 5日⑹17:00まで（必着）
令和9年 4月入学者選抜試験	令和8年10月 5日⑹ ～ 令和8年10月 9日⑹17:00まで（必着）

※ 期間内必着です。期間後到着のものは受理できません。

② 提出先
「出願書類提出先」（6ページ）と同じです。

⑶ 結果通知
審査結果は、郵送により本人宛に通知します。
出願資格「有」と認定された者は、本要領に定める出願書類を出願期間内に提出してください（「4. 出願手続等」（6ページ）参照）
なお、出願書類のうち、出願資格の認定の際に提出したものは、再度送付する必要はありません。

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、面接及び成績証明書の内容を総合的に審査し、判定します。
学力検査は、英語Ⅰ及び英語Ⅱを出題し、英語Ⅰは生命科学、基礎医学又は社会医学に関連する領域、英語Ⅱは臨床医学に関連する領域の英文を題材とし、語彙力、文法力、読解力を問うものとします。

7. 試験日・試験時間・受験の際の注意事項

試　験　日	科　目　等	時　　間
令和8年10月入学者選抜 令和8年8月18日(火) 令和9年4月入学者選抜 令和8年12月18日(金)	集合時間	9:20 まで
	諸 注 意	9:20 ～　9:30（10分）
	英語Ⅰ・英語Ⅱ	9:30 ～ 12:00（150分）
	面　　接	13:30 ～

【注意事項】

① 学力検査においては、辞書の持ち込みを認めます。ただし、電子辞書及び医学用語辞典等の医学専門辞書は認めません。

② 面接は、指導教員の研究室等で上記の試験日までに行いますので、必ず事前に指導教員と面接の日程について相談してください。試験日までに行えなかった場合のみ、上記試験日の学力検査後に行います。

③ 試験当日は受験票を必ず持参し、集合時間までに試験室に入室してください。当日は、9:00 から試験場に入場できます。

④ 試験途中での退室は認めません。

⑤ 災害、感染症の拡大等、不測の事態が発生した場合は、試験日程等を変更することがあります。その場合は、本学WEBサイトに、情報を随時掲載して連絡しますので、あらかじめご承知おき願います。

⑥ 受験者が不正行為を行ったと本学が判断した場合は、それ以降の受験は認められず失格となります。

⑦ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末及び音楽プレーヤー等のすべての電子機器は、試験場に入る前にアラームを解除したうえで電源を切り、かばんにしまって身につけないでください。これらの電子機器を係員の許可無く、試験場内で使用することはできません。また、使用した場合や鳴動した場合は不正行為となることがありますので、十分に注意してください。

⑧ 本学は敷地内全面禁煙となっており、喫煙はできません。

⑨ 受験に際して、本学では宿泊所の斡旋は行いませんので、最寄りの旅行代理店等に問い合わせてください。

8. 合格発表

⑴ 合格者の受験番号を本学WEBサイトに掲載します。
なお、合格通知書の郵送は行いません。「合格通知書」（PDFファイル）は、インターネット出願登録サイトから入学手続期間以降に必ずダウンロードし、4月まで大切に保管してください。

⑵ 判定結果について、電話等による問い合わせには一切お答えできません。

9. 入学手続

合格者は期間内に入学料を納付し、入学手続きを完了させてください。詳細は合格者に別途通知します。

●入学手続期間

出 願 区 分	手　続　期　間
令和8年10月入学者選抜試験	令和8年9月11日(金) ～ 令和8年9月18日(金)17:00まで（必着）
令和9年 4月入学者選抜試験	令和9年1月29日(金) ～ 令和9年2月4日(木)17:00まで（必着）

※ 持参する場合は、9:00～17:00の間にお越しください（土・日及び祝日は受付できません）。

10. 入学料及び授業料

⑴ 入学料（予定額）　282,000円
⑵ 授業料（予定額）　267,900円（前期分）　535,800円（年額）

・上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。
・授業料の納付の時期については、前期は4月、後期は10月です。ただし、入学日を含む期のみ、1か月遅くなります。なお、希望により前期分の納付の際に、後期分も併せて納付することができます。
・入学料及び授業料の納付方法については、合格者に別途通知します。
・入学料及び授業料には免除及び徴収猶予等の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。
・既納の入学料は、いかなる理由があっても返還できません。

11. 受験に際し、特別な配慮を希望する方へ

疾病・負傷や身体障害のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、特別な配慮を希望する方は、出願期間開始日の2週間前までに、配慮申請書（様式指定）に、医師の診断書等を添付して本学学務課入学試験室にご提出をお願いします（申請書類等は本学ホームページ
https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/exam/faculty_special_consideration/ に掲載しています）。

申請内容を確認のうえ、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。内容によっては、受験上の配慮が十分に提供できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、入学後の学習や学生生活などについては通年で相談に応じています。
※申請期限後、怪我等により急遽特別な配慮を要する事由が生じた場合は、直ちに本学学務課入学試験室まで申し出てください。

特別な配慮の対象となる障害等の程度

区分	障害等の程度
視覚障害	・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者又は視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者
聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者
肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者
病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発達障害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
その他	・上記以外で特別な配慮を必要とする者

※日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や特別な配慮との関係から必ず事前に申請してください。

12. 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報は「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「旭川医科大学個人情報管理規程」に基づき、次のとおり、個人情報の保護に万全を期しています。
また、入学試験にかかる出願書類等及び入学に必要な関係書類が、入学志願者から提出された時点で、以下の内容について入学志願者本人から同意を得たものとみなします。
⑴ 入学志願者から得られた出願書類等に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜、入学後の学籍管理等諸業務、入学者選抜方法にかかる調査・研究及びこれらに関連する業務を行うために利用します。
⑵ ⑴の個人情報のうち入学手続を完了した者の情報を、本学学生会及び同窓会等からの連絡に使用します。

出願手続きの流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6		STEP 7
事前準備	出願サイトにアクセス	マイページの登録	出願内容の登録	入学検定料の支払い	出願書類の郵送	出願完了	受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…詳細は学生募集要項「出願書類」のページ参照

（顔写真データ）

STEP 2 出願登録サイトにアクセス

出願登録サイト ▶ https://e-apply.jp/ds/asahikawa-med/

または、

大学ホームページ ▶ https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/

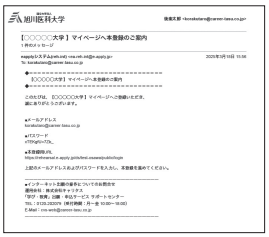
からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は マイページ登録 からログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って 仮登録メールを送信 > をクリックしてください。



③登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

④ユーザー登録画面から ログインページへ をクリックしてください。

⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと③で届いた『初期パスワード』にて ログイン をクリックしてください。

⑥新しいパスワードを設定してください。

⑦氏名、住所等の個人情報を入力して 次へ をクリックしてください。

⑧個人情報を確認して この内容で登録する をクリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、 出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

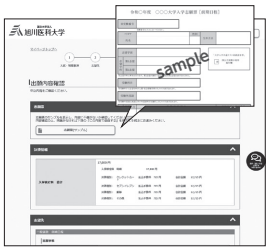
①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②入試選択と留意事項の確認

③志望学科等の選択

④顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報（氏名・住所等）の
入力



⑥出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。

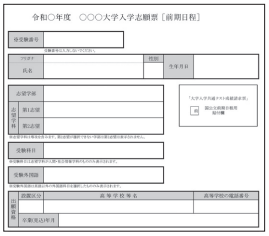
【注意事項】

出願登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）											

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）											
確認番号メモ（6桁）											

収納機関番号（5桁）	5	8	0	2	1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
ヤマザキデイリーストアー
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON　MINI STOP
マルチコピー機　あなたと、コンビに、FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	マルチコピー機	店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	**「各種番号をお持ちの方」**を選択	**「代金支払い/チャージ(コンビニでお支払いPayment/Charge)」**を選択	レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号(13桁)」を伝える	**「オンライン決済番号(11桁)」**を伝える	**「お客様番号(11桁)」**入力	**「お客様番号(11桁)」**入力	**「オンライン決済番号(11桁)」**を伝える
		「マルチペイメントサービス」を選択		
		「確認番号(6桁)」入力	**「確認番号(6桁)」**入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	
レジで検定料を現金で支払う※		発券された申込券(受付票)をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券(受付票)発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		レジで検定料を現金で支払う※
領収書(レシート形式)を必ず受け取る		払込受領証または受領書(レシート形式)を必ず受け取る		

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号**「58021」**を入力
「お客様番号(11桁)」入力
「確認番号(6桁)」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6 出願書類の印刷と郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**簡易書留速達郵便**」で郵送してください。※出願期間内郵送必着。

必要書類

入学志願票

＋

その他出願書類

※選抜によって異なりますので募集要項を必ず確認してください

出願書類提出用封筒宛名シート

出願書類提出用封筒

市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に出願書類提出用宛名シートを貼り付けて作成

送付先	〒078-8510　旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学 事務局学務課入学試験室　行

■出願書類

学生募集要項「出願書類」を確認し、
出願書類提出用封筒に入れて提出してください。

※出願受理した必要書類は一切返却しません。

「入学志願票」の印刷方法

(1) マイページに表示された 志願票（印刷） のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると 志願票（印刷） のボタンがクリックできるようになり入学志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願は出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理しませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願締切日の17時までにSTEP6までの全ての手続きを完了させる必要があります。（出願書類の郵送も出願期間内必着（出願期間の最終日17時まで）です。）ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7 受験票の印刷

受験票のダウンロード・印刷が可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへ通知いたします。
出願登録サイトのマイページから、受験票をダウンロードの上、必ず印刷し、試験当日持参してください。（※**郵送はいたしません**。）
試験日の5日前になっても受験票がダウンロードできない場合は、事務局学務課入学試験室まで問い合わせてください。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**にしてください。

Ⅱ　大学院医学系研究科博士課程〔医学専攻〕入学案内

1．組織構成

本学大学院医学系研究科（博士課程）は、「研究者コース」と「臨床研究者コース」、次世代のがんプロフェッショナル養成プランで設置した「臨床医学コース」と「次世代がんインフォマティクス人材養成コース」の4コースの教育課程を設けた1専攻で組織されています。

各コースには、それぞれ学際的な研究領域が設定されており、大学院生はいずれか一つの領域に所属し、必要とする専門的知識を修得することとなります。

研究科名	専攻名	コース名	領　域　名
大学院医学系研究科（博士課程）	医学専攻	研究者コース	腫瘍・血液病態学領域
			社会・環境医学領域
			免疫・感染症病態学領域
			感覚器・運動器病態学領域
			内分泌・代謝病態学領域
			神経・精神医学領域
			循環器・呼吸器病態学領域
			消化器病態学領域
			分子生理・薬理学領域
			生殖・発達・再生医学領域
		臨床研究者コース	臨床腫瘍・血液学領域
			臨床環境・社会医学領域
			臨床免疫・感染症学領域
			臨床感覚器・運動器学領域
			臨床内分泌・代謝学領域
			臨床神経・精神医学領域
			臨床循環器・呼吸器学領域
			臨床消化器学領域
			臨床薬理・分子生理学領域
			臨床生殖・発達・再生医学領域
		臨床医学コース	
		次世代がんインフォマティクス人材養成コース	

2．教育課程

⑴　教育課程の基本的考え方は、医学専攻の中に、4つのコースを設け、共通の医学研究倫理、方法論に関する基礎知識を持った上で、多様性のある医学研究に対する社会のニーズに応えようとするものです。
⑵　コース間交流のためのカリキュラムを設定しており、コースの途中変更も可能としています。
⑶　研究者コースは、基礎研究推進に必須な生命科学の基本的知識・技術を習得する基礎医学基盤演習と、各領域別の特論講義、特論演習、特論実験・実習、特論論文作成演習で構成し、先端的な基礎医学研究の遂行を到達目標としています。
⑷　臨床研究者コースは、臨床疫学・生物統計、臨床研究の倫理・方法論など臨床研究推進に必須である共通の臨床医学基盤演習と各臨床領域別の特論講義、臨床研究・臨床試験特論演習、特論実験・実習、特論論文作成演習で構成し、各領域別の臨床研究等の遂行を到達目標としています。
　なお、このコースでは、臨床研究･臨床試験の立案・実行に関する演習や、各領域専門医取得を視野に入れた診断治療技術の習得に関する演習を行うことも考慮しています。

3．各コースにおける研究指導教員

※研究指導教員名及び主たる研究内容については、今後変更となる場合があります。

⑴　研究者コース
　研究者コースは、先端的な研究を目指す研究者を養成するコースで、一つの研究領域に所属することにより、分野横断的かつ学際的に大学院生が必要とする専門知識の修得が可能です。

領域	研究指導教員名	主たる研究内容
腫瘍・血液病態学	中山　恒	・腫瘍微小環境を形成する分子ネットワークの解明
	髙澤　啓	・腫瘍で異常発現する細胞接着タンパク質の分子病理 ・病理・臨床検体を用いたバイオマーカー探索 ・腫瘍病理学 ・各種疾患の臨床分子形態学的解析
	小林　博也	・抗腫瘍効果を示すワクチン開発の基礎研究
	原　英樹	・がん細胞と微小環境におけるインフラマソーム応答の機能解析
	髙橋　悟	・慢性骨髄増殖性疾患の遺伝子解析 ・小児造血器腫瘍の微少残存病変の研究
	横尾　英樹	・消化器腫瘍の発生と病態に関する研究
	伊藤　浩	・骨・軟部腫瘍における化学療法の効果（病理学的・分子生物学的解析）
	沼倉　一幸	・泌尿器腫瘍性疾患の分子生物学および遺伝学的研究 ・免疫チェックポイント阻害薬の効果予測 ・腫瘍微小環境における幹細胞の意義
	高原　幹	・頭頸部癌、悪性リンパ腫の分子腫瘍学的、EBウイルス学的解析
	加藤　育民	・婦人科悪性腫瘍の転移機構に関する分子生物学的研究

領域	研究指導教員名	主 た る 研 究 内 容
社会・環境医学	西條　泰明	・循環器疾患予防に関する疫学研究 ・室内空気環境・シックハウス症候群・シックビルディング症候群に関する疫学研究 ・臨床疫学（横断研究、症例対照研究、患者コホート、診断的検査） ・過重労働・職業ストレスの健康影響に関する研究 ・健康の社会的決定要因に関する研究 ・地域医療の適正化に関する研究 ・出生コホートによる社会・環境要因の小児への影響の解明 ・環境要因の健康影響に関する疫学研究
	迫　　康仁	・アジアを中心に流行している人獣共通寄生虫病（特にエキノコックス症、脳嚢虫症等）に関する疫学研究
	清水　惠子	・薬毒物の毒性機序の解明と毒性阻止機構（薬）の検討 ・DNA 多型を用いた個人識別法の開発を中心とした法医遺伝学
免疫・感染症病態学	原　　英樹	・病原体と宿主の免疫学的相互作用 ・病原体が発現する病原因子の機能解析 ・薬剤耐性菌の克服に向けた新規治療法の開発 ・インフラマソームの分子制御機構の解析
	迫　　康仁	・難治性寄生虫病（エキノコックス症、脳嚢虫症等）における宿主ー寄生虫相互関係に関する免疫・分子生物学的研究
	野本　博司	・膠原病および自己免疫疾患の病態の解明
	髙橋　　悟	・分子生物学を用いた先天性サイトメガロウイルス感染症の診断と治療に関する研究
	沼倉　一幸	・抗体関連型拒絶の治療法の開発
	藤田　靖幸	・皮膚の自然免疫制御
	高原　　幹	・上気道（中耳、鼻副鼻腔、扁桃）の粘膜免疫と感染防御機構の解明
	牧野　雄一	・自己免疫疾患発症機序の分子生物学的解明
感覚器・運動器病態学	伊藤　　浩	・脊髄神経系の病態生理 ・関節の生体力学
	長岡　泰司	・網膜神経血管連関に着目した糖尿病網膜症早期診断法の開発 ・網膜血管閉塞モデルの確立と低侵襲治療法の開発
内分泌・代謝病態学	甲賀　大輔	・内分泌系を介した生体の恒常性維持機構のうち、主として視床下部―下垂体―性腺系に関して、様々な実験動物モデルを利用して解析する
	野本　博司	・糖尿病および内分泌疾患の成因・病態
	髙橋　　悟	・生殖腺・副腎の発生・分化と性分化の分子機構とその障害に関する研究
	藤田　靖幸	・表皮細胞における角化制御機構 ・表皮角層の剥離機構 ・表皮細胞の増殖制御機構 ・皮膚創傷治癒の増殖制御機構
	加藤　育民	・女性ホルモンに関する研究 ・卵子形成・初期卵胞発育に関する分子生物学的研究

領域	研究指導教員名	主 た る 研 究 内 容
神経・精神医学	吉田　成孝	・神経解剖学、特に動物モデルによる神経病態学 ・細胞外プロテアーゼの機能解析 ・神経グリア細胞の病態生理解析
	野口　智弘	・感覚-運動連関の神経機構に関する基礎研究
	原　　英樹	・脳神経疾患におけるインフラマソームの機能解析
	橋岡　禎征	・Neuroinflammation 研究に基づいた精神神経疾患の病態解明と新規治療法開発
	髙橋　　悟	・前脳特異的 Cdk5 欠損マウスをモデルとした脳形成異常の病態解明 ・神経発達障害の病態解明と治療法開発 ・グルコーストランスポーター１欠損症の病態解明と治療法開発
	牧野　　洋	・血管リモデリングと脳動脈瘤
	沼倉　一幸	・排尿の神経調節機構に関する生理学的薬理学的研究 ・下部尿路閉塞モデルにおける神経障害・虚血性障害の病態解明
	田﨑　嘉一	・錐体外路系に影響を与える神経回路の研究
	松本　成史	・下部尿路および勃起機能障害に対する新規治療薬および検査法開発
	池上　将永	・発達障害の認知・行動特性に関する心理学的研究
循環器・呼吸器病態学	入部　玄太郎	・心筋機械感受性現象の生理・病態生理に関する統合生理学的研究
	中川　直樹	・心腎血管疾患における microRNA の役割解明
	岡田　　基	・敗血症におけるβ受容体の役割 ・血管内凝固亢進時の呼吸不全とサイトカインの関与の検討 ・敗血症性心筋症のメカニズムの解明
	武輪　能明	・体外循環を用いた循環・呼吸補助療法が生体に与える影響と対処法に関する研究
消化器病態学	原　　英樹	・腸内細菌とその代謝産物によるインフラマソーム制御機構の解析
	水上　裕輔	・消化器癌発癌素地の探索と腫瘍進展の分子異常
	横尾　英樹	・消化器領域の炎症と病態に関する研究 ・肝再生に関する研究 ・移植免疫・腫瘍免疫に関する研究 ・臓器保存に関する研究
	野津　　司	・脳腸相関

領域	研究指導教員名	主 た る 研 究 内 容
分子生理・薬理学	甲賀　大輔	・内分泌細胞におけるペプチドホルモンの品質管理機構、および分泌顆粒形成機構・放出機構について、主として電顕免疫組織化学法を用いて解析する
	中山　　恒	・低酸素性疾患（がん・虚血）の病態解明と創薬
	藤田　靖幸	・表皮角化関連蛋白の遺伝子発現制御機構 ・表皮細胞のカルシウムを介する制御機構
	田﨑　嘉一	・新規パーキンソン病治療薬の神経細胞死抑制メカニズムの研究
生殖・発達・再生医学	川辺　淳一	・骨格筋など組織再生における毛細血管幹細胞の役割解明
	髙橋　　悟	・分子生物学的手法を用いた子宮内発育不全発症機序の解明 ・分子生物学的手法を用いた新生児疾患の原因究明（neonatal molecular biology の確立）
	加藤　育民	・周産期医療の統計学的動向研究
	吉田　将亜	・幹細胞を用いた顎骨組織の再生について
	蒔田　芳男	・次世代シークエンサーを用いた先天異常症候群の解析
	武輪　能明	・再生医学的手法を用いた心血管系代用臓器の作製に関する研究

⑵　臨床研究者コース

臨床研究者コースは、倫理観を有する専門性の高い診断・治療・技術に裏打ちされた、優れた臨床研究・臨床試験推進能力を備えた臨床医を養成するコースです。

また、本コースも一つの研究領域に所属し、分野横断的かつ学際的に大学院生が必要とする専門知識の修得が可能となっています。

領域	研究指導教員名	主　た　る　研　究　内　容
臨床腫瘍・血液学	髙橋　　悟	・小児高リスク悪性腫瘍に対するサルベージ療法の研究 ・小児再発造血器腫瘍に対する reduced intensity stem cell transplantationの研究 ・小児における化学療法および造血幹細胞移植後の晩期障害の研究 ・小児非血液疾患に対する造血幹細胞移植の研究
	横尾　英樹	・消化器、肝胆膵の悪性腫瘍の診断と治療に関する研究
	伊藤　　浩	・人工股関節の生体力学
	沼倉　一幸	・泌尿器癌における新規腫瘍マーカーの検索 ・腎癌に対する分子標的薬の有効性に関する検討
	高原　　幹	・頭頸部癌、悪性リンパ腫の分子腫瘍学的、EBウイルス学的解析
	加藤　育民	・婦人科癌の転移機構に関する臨床的研究
	沖崎　貴琢	・画像診断学の基本の理解及び腫瘍・血液疾患に伴う臓器や組織の病態変化に関する形態的および機能的評価法の開発
	谷野　美智枝	・腫瘍病理学（特に脳腫瘍と呼吸器悪性腫瘍）・間質性肺炎の病態解明
臨床免疫・感染症学	野本　博司	・膠原病および自己免疫疾患の新規治療に関わる研究
	髙橋　　悟	・臍帯を用いた先天感染診断法の確立
	沼倉　一幸	・後向きコホートによる腎移植患者のunmet needsの解決
	藤田　靖幸	・アトピー性皮膚炎、乾癬、皮膚悪性腫瘍の臨床免疫
	高原　　幹	・上気道（中耳、鼻副鼻腔、扁桃）の粘膜免疫と感染防御機構の解明
臨床感覚器・運動器学	伊藤　　浩	・新規人工関節の開発 ・関節軟骨の修復と再生　ー間葉系幹細胞の移植免疫の研究ー
	長岡　泰司	・糖尿病患者の網膜症・黄斑浮腫の発症進展のバイオマーカーの探索
	大田　哲生	・姿勢制御のメカニズムに関する研究

領域	研究指導教員名	主 た る 研 究 内 容
臨床内分泌・代謝学	野本　博司	•糖尿病および内分泌疾患とその合併症の病態解明ならびに新規治療ストラテジーの検討
	髙橋　　悟	・クレチン症の疫学と分子基盤
	藤田　靖幸	・成長障害の分子基盤
	加藤　育民	・女性ホルモンに関する臨床内分泌学的研究
臨床神経・精神医学	橋岡　禎征	・精神神経疾患と全身性炎症との関連に関する研究
	髙橋　　悟	・発達性てんかん性脳症の脳内神経ネットワーク解析
	沼倉　一幸	・糖尿病における膀胱知覚障害の病態解明 ・過活動膀胱における膀胱知覚過敏の解析 ・前立腺肥大症における膀胱機能異常の解析
	沖崎　貴琢	・画像診断学の基本の理解及び神経・精神疾患に伴う臓器や組織の病態変化に関する形態的および機能的評価法の開発
	木下　　学	•脳神経外科疾患に対する臨床試験や画像データに対して画像統計解析や人工知能解析を施し、疾患の本質に迫る
	大田　哲生	・Brain machine interfaceを応用した脳の可塑性の研究
臨床循環器・呼吸器学	中川　直樹	・心腎血管疾患における ビッグデータ解析
	髙橋　　悟	・小児心疾患患者における肺血管拡張薬の薬物血中濃度に関する研究
	東　　信良	・静脈グラフト質的劣化の病態解明 ・静脈グラフト内膜肥厚予防戦略の確立 ・虚血性潰瘍に対する治療法の発展 ・血管病変における細胞外小胞の関与と機能解析 ・大動脈瘤の発生機序解明研究 ・小児内視鏡手術の適応拡大 ・直腸肛門奇形発生のメカニズムの解明と再生研究
	紙谷　寛之	・大動脈弓部手術における脳保護 ・補助体外循環中の脳灌流 ・低侵襲心臓外科手術の現況 ・生体吸収性の小口径人工血管の開発 ・心筋再生 ・心筋細胞の細胞周期制御機構
	沖崎　貴琢	・画像診断学の基本の理解及び循環器・呼吸器疾患に伴う臓器や組織の病態変化に関する形態的および機能的評価法の開発
	岡田　　基	・敗血症時の腸内細菌の変化 ・生体情報・動画転送装置を用いた心肺蘇生成績の向上の検討
	佐藤　伸之	・非侵襲的心電指標を用いた難治性不整脈のリスク層別化に関する研究 ・難治性不整脈患者における心臓MRI画像所見に関する研究
臨床消化器学	藤谷　幹浩	・消化器疾患の臨床的問題点にもとづく病態解明と新規治療法開発
	横尾　英樹	・消化器、肝胆膵領域の炎症疾患の診断と治療に関する研究 ・臓器移植の成績に関する研究
	沖崎　貴琢	・画像診断学の基本の理解及び消化器疾患に伴う臓器や組織の病態変化に関する形態的および機能的評価法の開発
	野津　　司	・機能性消化管障害の病態メカニズム

領域	研究指導教員名	主 た る 研 究 内 容
臨床薬理・分子生理学	牧野　洋	・筋弛緩薬と筋弛緩モニタリング
	藤田　靖幸	・角化を制御する薬剤の臨床薬理
	田﨑　嘉一	・医薬品の体内動態と薬効・副作用との関連に関する研究 ・新規メカニズムを有する抗パーキンソン病薬の開発研究 ・特殊病態下における抗菌薬のPK/PDに関する臨床薬理研究 ・ビッグデータ解析を用いた抗菌薬の育薬研究
臨床生殖・発達・再生医学	髙橋　　悟	・新生児一過性糖尿病の分子基盤に基づいた発生疫学
	加藤　育民	・周産期医療の将来と人口動向調査研究 ・ヒト卵巣組織の凍結保存および体外培養に関する研究
	吉田　将亜	・顎骨部分欠損時の骨再生に関する臨床的研究 ・放射線照射後の骨再生に関する臨床的研究（動物実験も含めて）
	蒔田　芳男	・遺伝学的検査の治療戦略への応用

4. 教育方法の特例

本学博士課程においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、社会人の方々が入学後も仕事を続けながら講義が受講できるように、夕方からも開講します。

5. 学位の授与

⑴　学位は博士（医学）です。

⑵　博士の学位は大学院に4年（標準とする。）以上在学し、32単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、論文審査及び最終試験に合格した者に与えます。

　ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年以上の在学で認められる場合があります。

6. 長期履修学生制度

本学博士課程では、職業を有している等の事情によって、標準修業年限（4年）を超えて一定の期間（5年又は6年）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者については、審査のうえ、これを許可する制度を設けています。この制度の適用者を「長期履修学生」といい、当該学生の授業料総支払額は、標準修業年限による修了者と同額になります。この制度の適用を希望する場合は、合格発表後、入学手続案内で定める期間に下記「9. 問合せ先」へ申し出てください。

7. 免除等の制度

⑴　入学料免除及び徴収猶予

　特別な事情又は経済的理由により入学料の納付が著しく困難な場合、選考のうえ、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。また、特別な事情又は経済的理由により入学料の納付が著しく困難と認められる場合には、入学料の徴収を猶予する制度があります。

⑵　授業料免除及び徴収の猶予

　経済的理由により授業料の納付が困難な場合、選考のうえ、前期又は後期ごとに授業料の全額又は半額が免除される制度及び授業料の徴収を猶予する制度があります。

8. 奨学金制度

⑴　本学には、大学独自の奨学金制度があり、本人の申請に基づき次の支給基準に該当する学生には、授業料の半額相当を奨学金として支給しています。

支給対象者	・博士課程に在籍する者 （在籍の基準日　前期：5 月 1 日、後期：11 月 1 日） ・奨学金支給を希望する学期において、授業料免除申請をした者 ・収入が日本学生支援機構奨学金第二種奨学金の収入基準額以下の者
支給対象者から除外される者	・授業料の全額免除又は半額免除となった者 ・休学を許可された者又は休学を命ぜられた者 ・懲戒等を受けた者 ・在学途中で長期履修制度の適用を受けた者
支給金額	・前期又は後期のそれぞれの期に納入すべき授業料の半額相当
支給期間	・長期履修制度適用の有無に関わらず、標準修業年限（博士課程：入学後 4 年間）

⑵　また、本学には、旭川医科大学基金支援事業による奨学資金の支援制度があり、本人の申請による選考の結果、次の金額が支給されます。

年額　250,000円

⑶　日本学生支援機構の奨学金制度があり、本人の申請により大学から推薦し、貸与が認められた場合、次の金額が貸与されます。

・第 1 種奨学金（無利息）　月額　80,000 円・122,000 円
・第 2 種奨学金（利息付）　月額　50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・150,000 円
（※ 本人の希望により貸与額を選択）

9. 問合せ先

照 会 先：　旭川医科大学事務局学務課大学院・留学生係
電　　話：　0166-68-2209
E-mail：　gaku-inryu@asahikawa-med.ac.jp
大学URL：　https://www.asahikawa-med.ac.jp/

Ⅲ「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」

【次世代のがんプロフェッショナル養成プランとは】
　がんは、我が国死因第 1 位の疾患であり、生涯のうちに約 2 人に 1 人ががんにかかると推計されているなど、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっています。
　本事業では、大学間の連携により、各大学の特色を生かした教育プログラムを構築し、がん医療の新たな課題に対応できる優れた「次世代のがんプロフェッショナル」な人材を養成します。

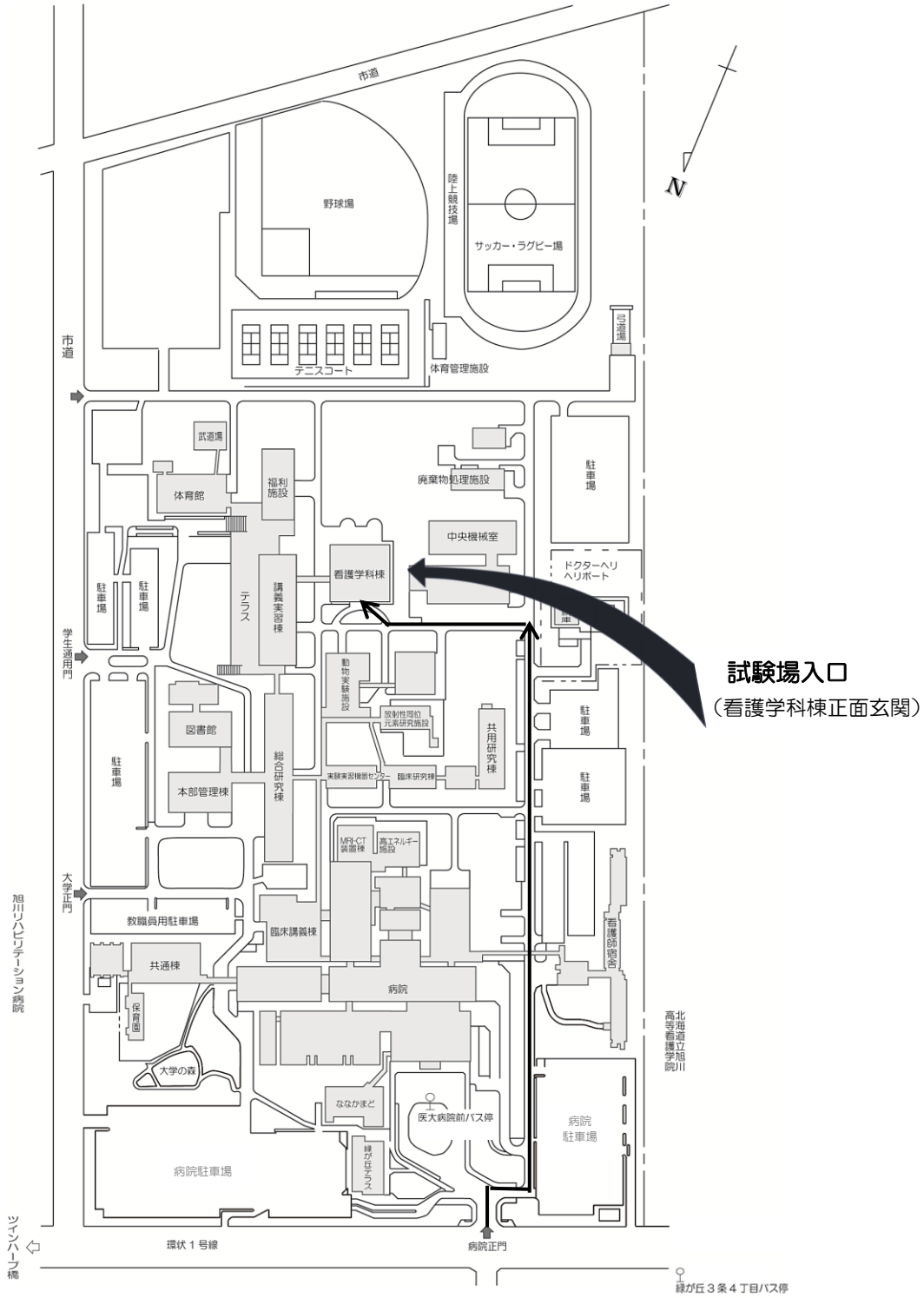
・臨床医学コース
　がん専門医療人材を養成するために、基盤となる医学系大学院の教育に加え、それぞれの専門分野の講義や演習を開講します。座学のみならず、実際の医療現場において病理形態学的診断、分子病理学的診断、放射線画像と病理形態を合わせた Radio-Pathological 診断、放射線治療計画（高精度放射線治療含む）や小線源治療、緩和ケアと連携した緩和的放射線治療、疼痛緩和や病棟でのカンファレンス、在宅支援といった緩和ケアの実践的な演習も行います。またキャンサーボードをはじめとして施設内の様々なカンファレンスへの積極的な参加を奨励し、複数の診療科医師及び看護師や臨床検査技師などのメディカルスタッフとのディスカッションを通じて臓器横断的ながん診療を学習する環境を整備します。

・次世代がんインフォマティクス人材養成コース
　基盤となる医学系大学院の教育に加え、核酸やタンパク質、代謝物の取り扱いなどの基本手技、次世代シーケンサーやプロテオミクス、メタボロミクスなどの最新の解析手法の理論と方法を学習します。生体試料の採取から、解析及びデータ分析に至る一連の工程を実際に体験します。さらに得られた結果の解釈と、実際に診療情報として利用するための制度を理解します。多層オミクス解析は未だ発展途上の学問領域であり、広く国内外のエキスパートから知識ならびにアルゴリズム進化の方向性を学ぶ必要もあります。このため、共同研究等で連携のある学外研究者の協力を得て、オムニバス形式のインフォマティクス講義を取り入れます。本プログラムでは履修者の専門領域の専門医取得に加え、ジェネティックエキスパートや臨床遺伝専門医等の取得を推奨し、履修期間中に資格取得のための支援を行います。また、本学では、これまで ICT を利用した高速かつセキュリティーの高い遠隔医療システムによる先駆的医療を実践してきました。道北・道東中心の地域医療機関との間に整備されている本システムを積極的に活用し、ゲノム医療に関するカンファレンスやセミナー等の聴講が可能な仕組みを作り、地域の実情に目を向けたがんゲノム医療の担い手の育成にもつなげます。

　この「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」の履修を希望する場合には、志望するコースの研究指導教員と事前に相談の上、出願してください。
　また、出願に当たっては、入学志願票及び受験票の志望するコースに〇をつけ、研究指導教員を記入してください。

コース名	研究指導教員
臨床医学コース	沖崎　貴琢
	谷野　美智枝
	牧野　　洋
次世代がんインフォマティクス人材養成コース	水上　裕輔

Ⅳ　試験会場



【注意事項】

⑴ 受験者は試験当日以外、建物の中は立入禁止となります。受験者は必ず「試験場入口」から入場してください。

⑵ 矢印（←）は、試験場入口までの徒歩による順路です。病院の入口等から入場した場合、迷う可能性がありますので、必ず上記順路で入場してください。

⑶ 試験場入口の駐車場は、教職員駐車場となりますので、自家用車で来場される場合は本学病院駐車場をご利用ください。
なお、利用時間が30分までは無料ですが、その後の1時間は300円、それ以降は1時間毎に100円の利用料金がかかります。

⑷ 本学までのアクセスについては、本学WEBサイトでご確認ください。

お問合せ先

旭川医科大学事務局学務課入学試験室
〒078-8510　旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
TEL：0166-68-2214（直通）（平日9:00～17:00）
https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/